

# 集団資源回収活動に係るアンケート調査報告書

# 調査概要

---

## 調査目的

- 集団資源回収状況の実態把握と情報共有
- 団体の活動活性化に向けた取り組みの検討
- 今後の廃棄物関連施策への活用

## 調査対象

- 市内全町内会及び自治会
- 資源回収奨励金制度登録団体  
全93団体

# 調査概要

---

## 調査期間

令和5年8月9日～令和5年8月25日

## 調査方法

- 郵送調査(調査票を郵送)
- インターネット調査(回答フォームに入力)

# 調査概要

---

## 調査結果と回収状況

- 総数 93件
- 有効回答 85件 (データ回答22件)
- 有効回答率 91% (データ回答率26%)

# 調査結果

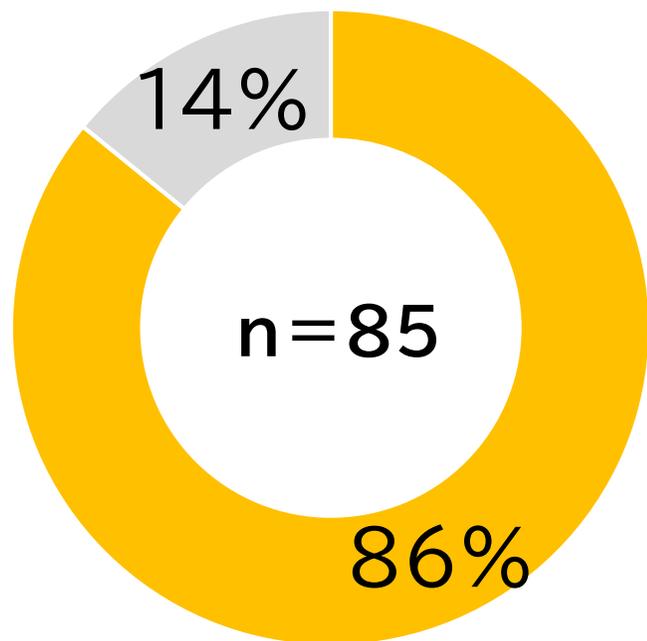
---

## 質問項目

1. 資源回収の有無
2. 回収頻度
3. 回収品目
4. 回収場所
5. 回収業者
6. 業者選定理由
7. 回収日変更の可否
8. 資源回収の目的
9. 売払金及び奨励金の使い道
10. 今後の活動について
11. 周知啓発方法
12. 資源回収奨励金制度の満足度
13. 資源回収奨励金の単価について
14. 自由意見

# 調査結果

## 資源回収の有無



■ 実施している ■ 実施していない

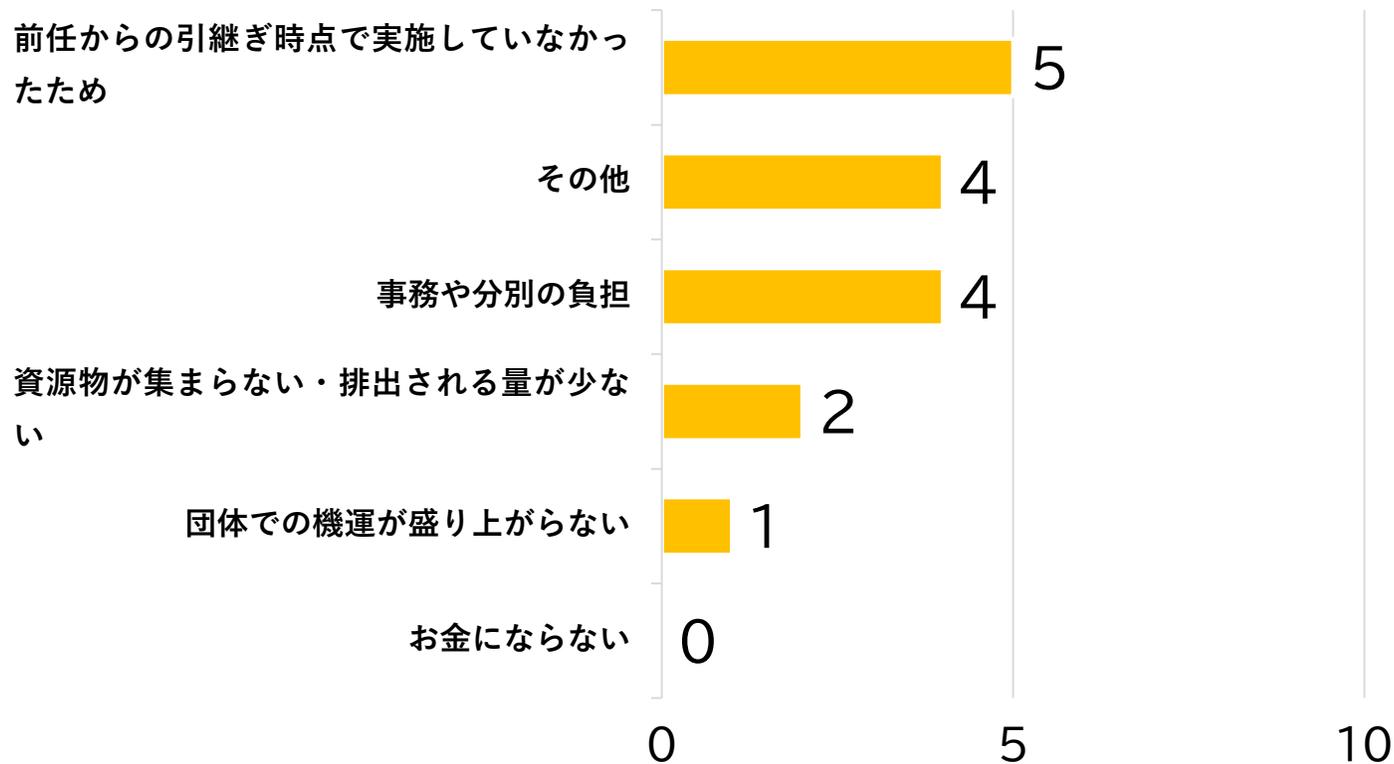
資源回収を「実施している」と回答した団体が86%。

「実施していない」と回答した団体のうち、4団体が他団体と共同で回収していることから、実質91%の団体で資源回収を実施している状況。

# 調査結果

## 資源回収を実施していない理由

n=16



資源回収を実施していない理由では、『前任からの引継ぎ時点で実施していない』と回答した団体がもっとも多かった。

団体内の調整や制度の目的や効果などの啓発活動次第では新たに資源回収を実施できる余地はあるものと思われる。

また、『その他』の意見すべてが、他団体と一体で実施していることを理由に実施していないと回答してものであることから、実質『その他』の回答は資源回収を実施している。

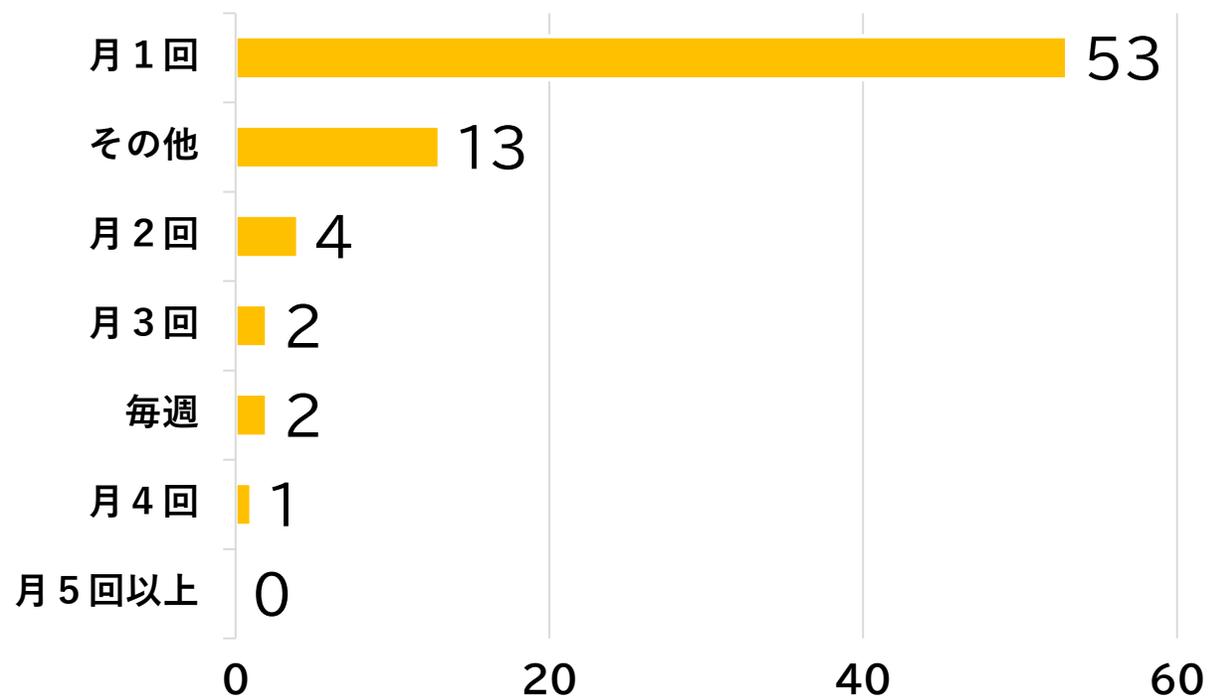
### その他の意見抜粋

- ・小規模団体であるので小学校と一体回収。
- ・町内会の老人クラブが以前より資源回収を実施しているため。

# 調査結果

## 回収頻度

n=75



回収頻度では、ほとんどの団体で『月1回』の回収を行っている。

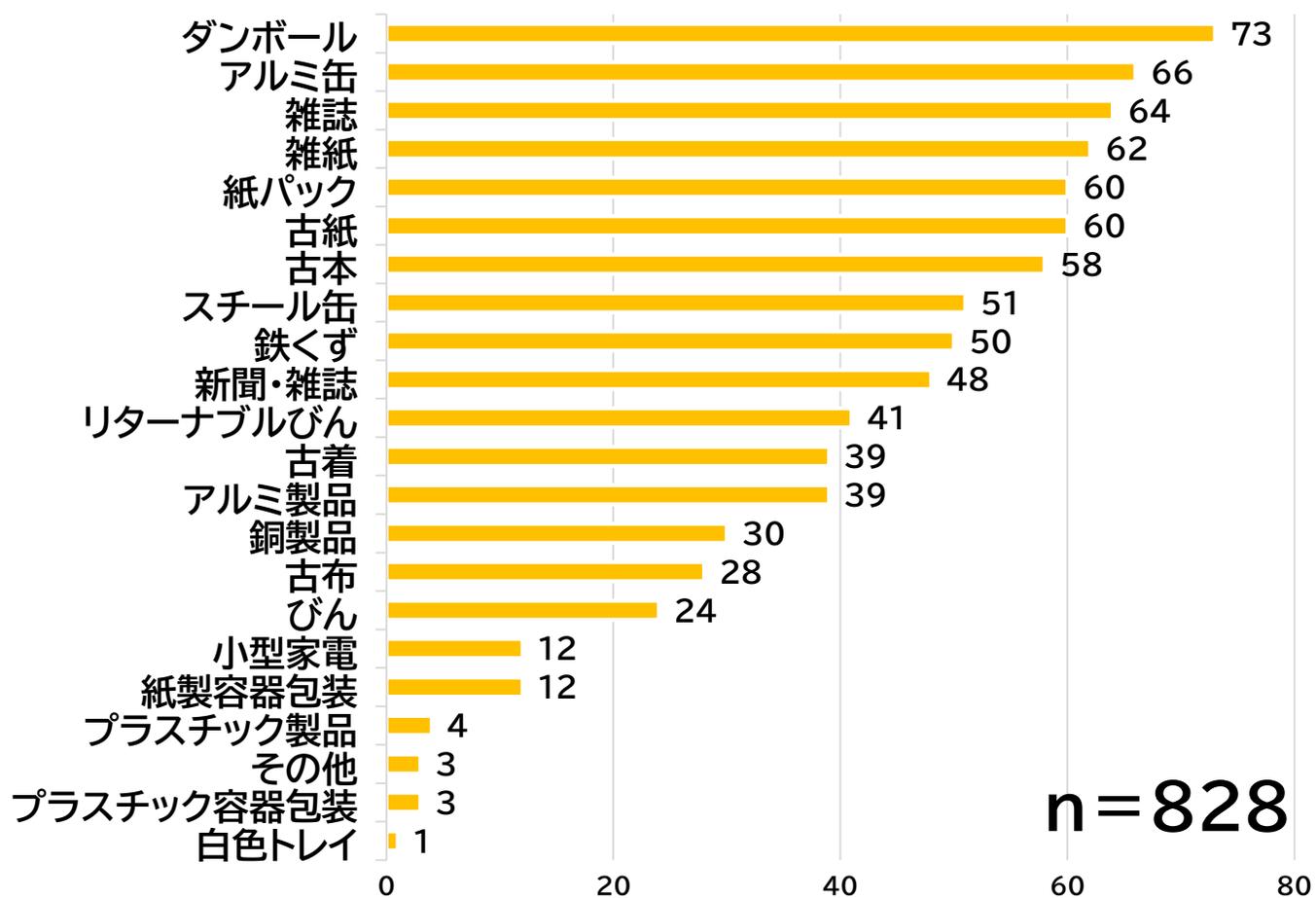
次に多かったのが『その他』であり、数か月に一度の回収や、資源物が溜まった段階で回収依頼するなど不定期回収が多かった。

### その他の意見抜粋

- ・ 2～3か月に一度の回収
- ・ 年に数回回収
- ・ 業者に都度連絡し回収に来てもらう

# 調査結果

## 回収品目



n = 828

回収品目では『ダンボール』などを含む紙類はほとんどの団体で回収している状況。一方、『古着』『古布』や、『金属製品、小型家電』などご家庭で発生しやすい品目であるが、これらを資源回収していると回答した団体はあまり多くない状況。

契約している回収業者の影響もあるものと推察されるが、今後は回収品目拡大に向けた情報提供などを行うことで資源回収量の増加に寄与するものと考えられる。

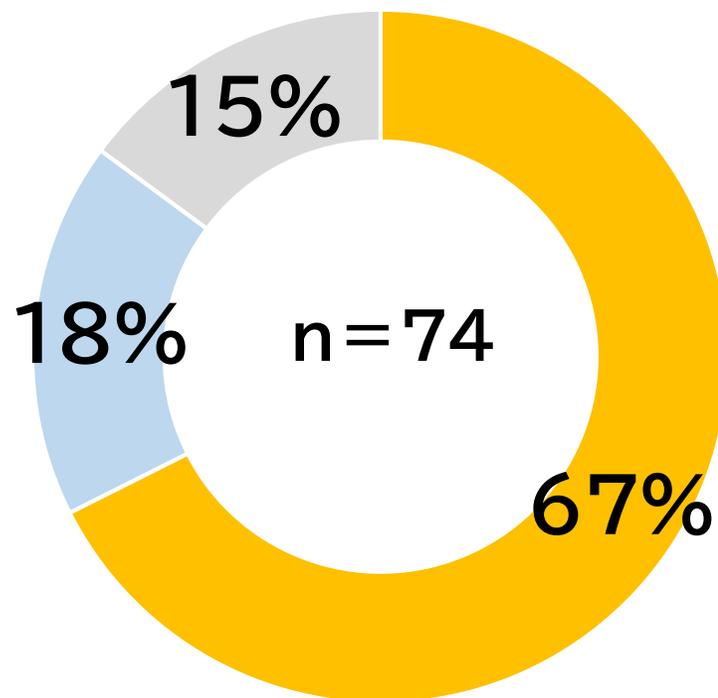
### その他の意見抜粋

- ・シュレッダー紙
- ・ペットボトル

# 調査結果

## 回収場所

- 戸別回収(各家の前)
- 拠点回収(集積所やステーション)
- その他



回収場所では、自宅の前まで回収業者が取りに来ると回答した団体が多かった。18%の団体では拠点回収と回答している。

その他と回答したのは15%であるが、その他意見にある通り、拠点回収に近い状況で回収している団体が多かった。

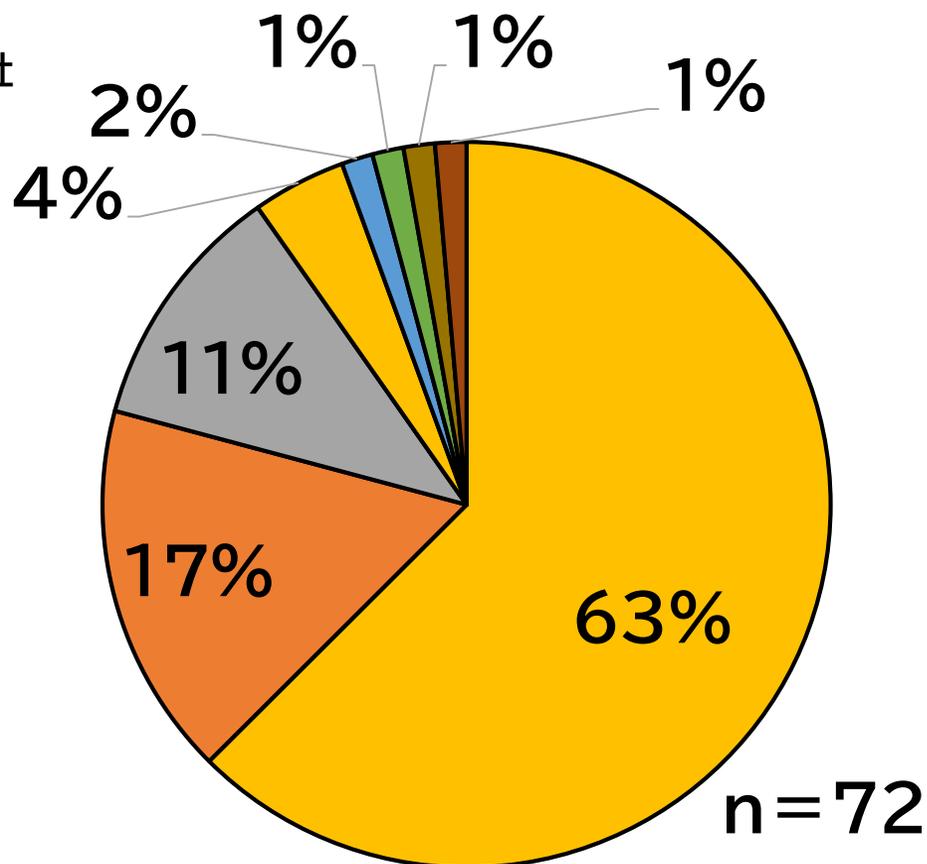
### その他の意見抜粋

- ・校内での集積
- ・会館横作業場
- ・集合玄関内

# 調査結果

## 回収業者

- 北海道資源商事株式会社
- 株式会社マテック
- 株式会社紙商五代
- 三幸産業有限会社
- その他
- 有限会社大熊商事
- 株式会社スギタ商会
- 株式会社広宜商事

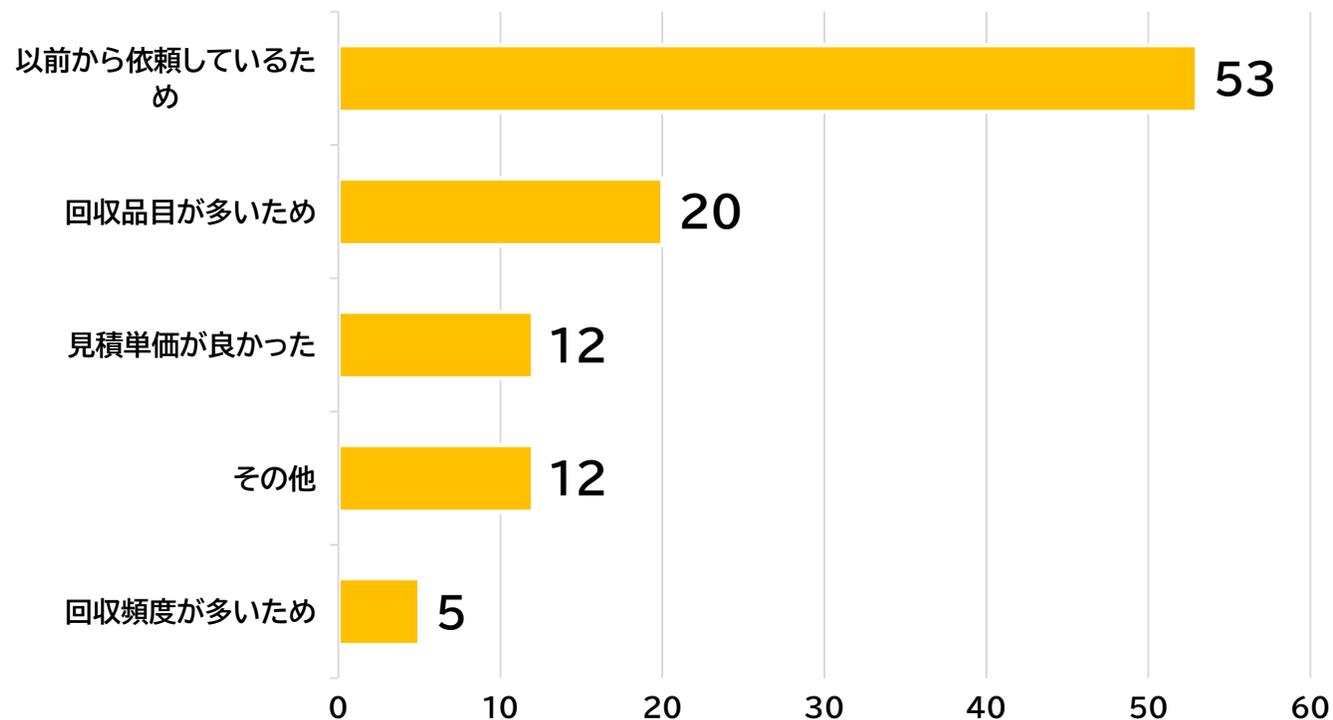


回収業者では、北海道資源商事株が63%、(株)マテックが17%、(株)紙商五代が11%と、この3社で市内90%を占めていた。

# 調査結果

## 業者選定理由

n=102



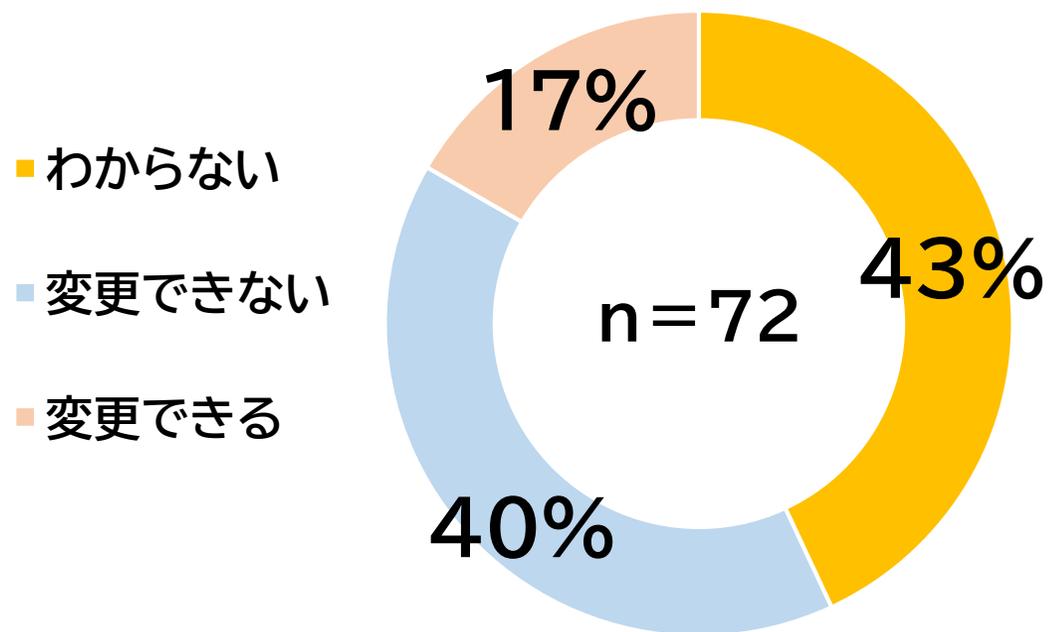
回収業者を選んだ理由では、以前から依頼していると回答した団体が最も多く、次に取り扱い品目の多さや売却単価が良いという理由で業者選定している状況。

### その他の意見抜粋

- ・戸別回収を業者が全てやってくれるから。
- ・業者が協力的で、回収時の周知用放送もやってくれるから。
- ・団役員、区長等の業務軽減のため。

# 調査結果

## 回収日変更の可否



回収日の変更については「分からない」と「変更できない」と回答した団体が、合計で83%。

理由としては、これまでも同じ回収日で運用しているため回収日を変更すると団体員の混乱を招くという意見や、そもそも業者により回収日を指定されているため変更できないといった意見が多い状況。

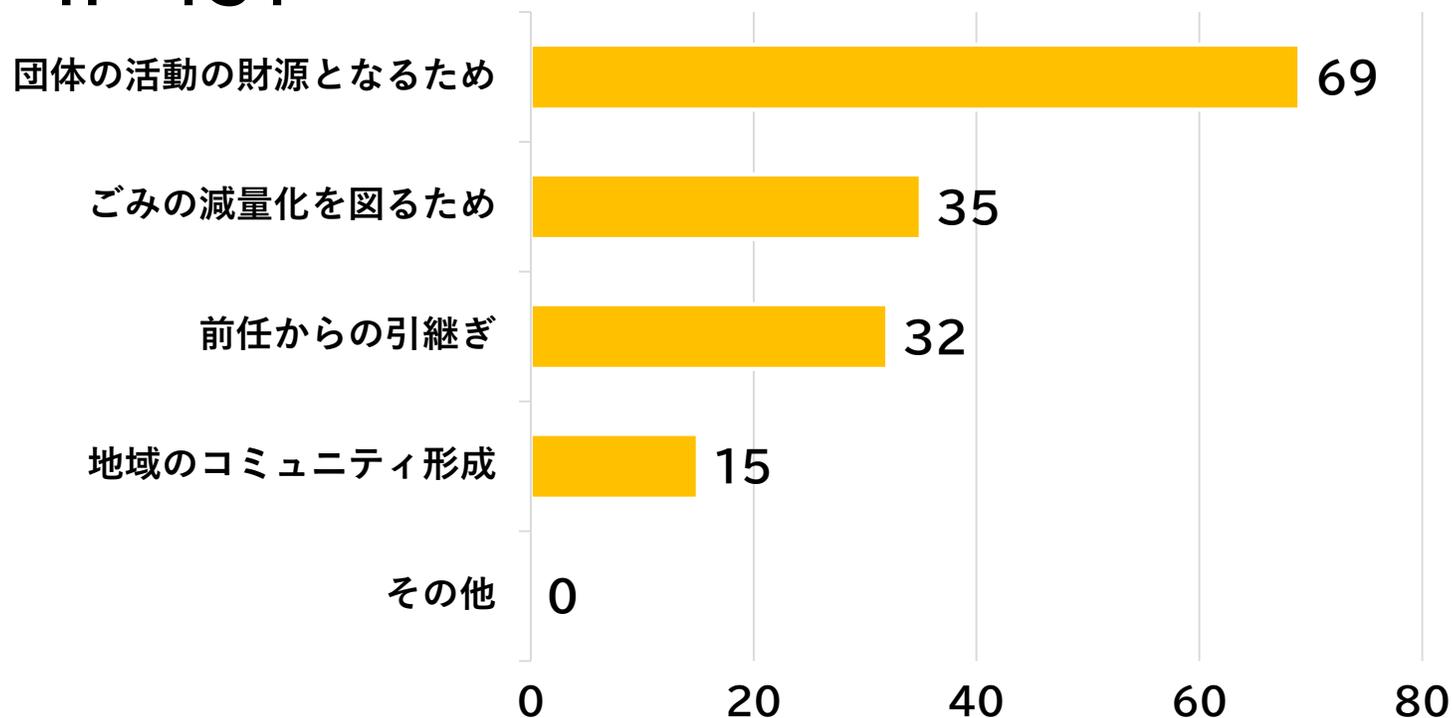
### その他の意見抜粋

- ・業者が変更してくれない。
- ・変更すると町内会で戸惑いが起きる。
- ・団体が活動する日に回収している。
- ・現在の回収日が浸透している。

# 調査結果

## 回収の目的

n=151

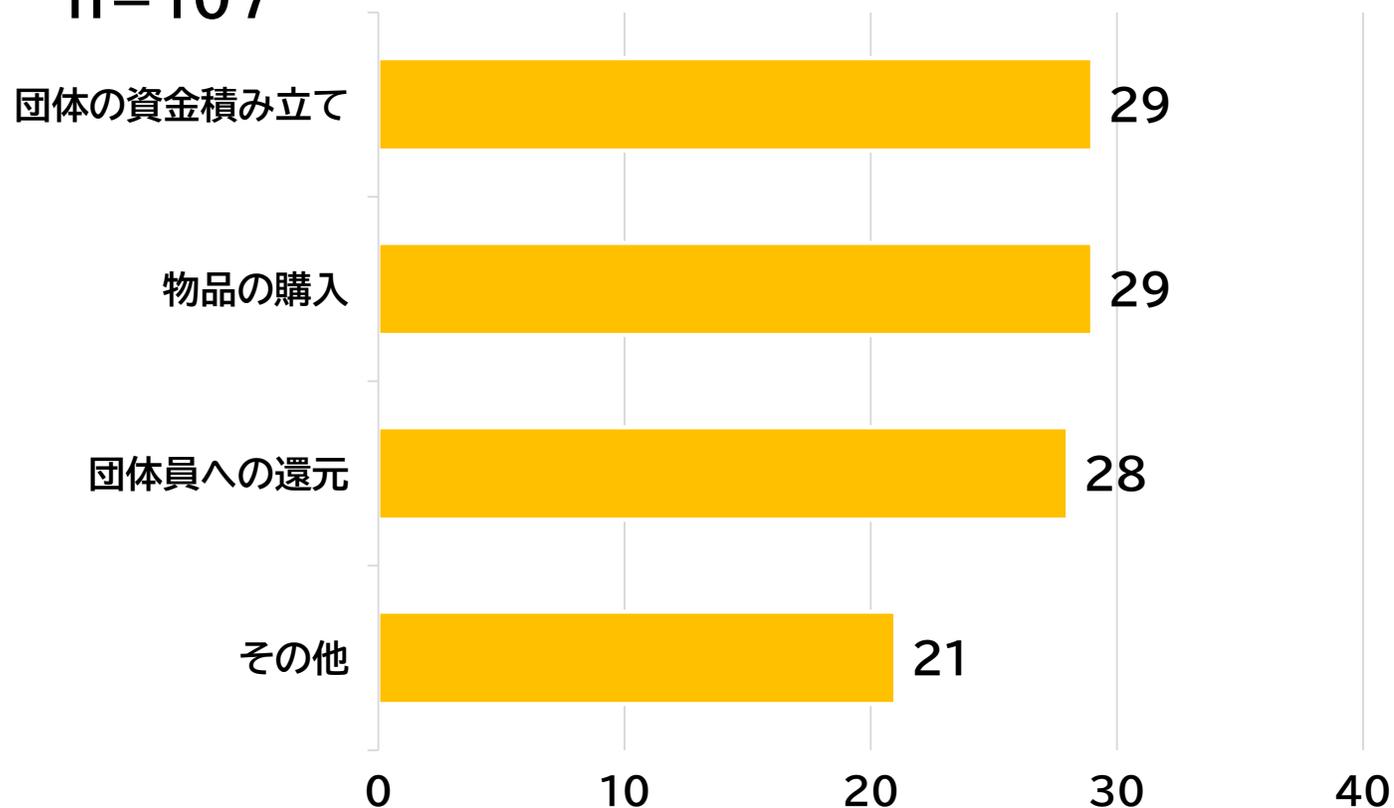


回収目的では、「団体の活動の財源となるため」と回答した団体がもっとも多く、次いで「ごみの減量化を図るため」「前任からの引継ぎ」という回答が多い状況。

# 調査結果

## ■ 売払金及び奨励金の使い道

n=107



売却益の使い道については、どの設問もほぼ同数で、どの団体においても何らかの形で団体の活動資金や団体員への還元に使われているといった状況。

### その他の意見抜粋

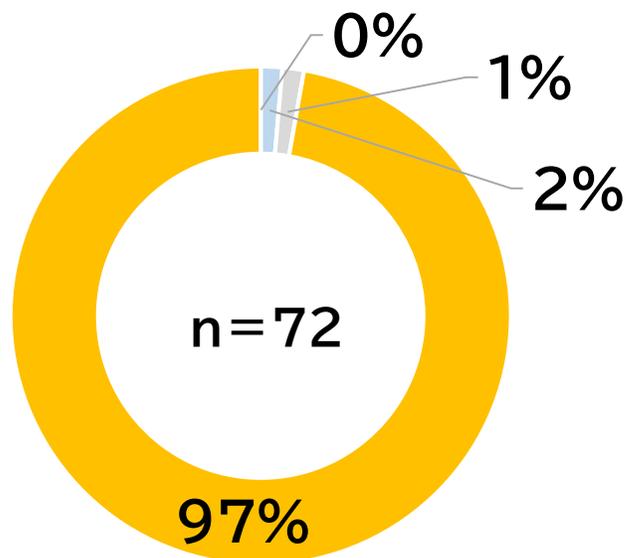
- ・ 社会福祉協議会や赤十字などへ募金
- ・ 行事の費用に充当
- ・ 防災備蓄品調達費用に充当

# 調査結果

## 今後の活動について(回収頻度・回収品目)

### 回収頻度

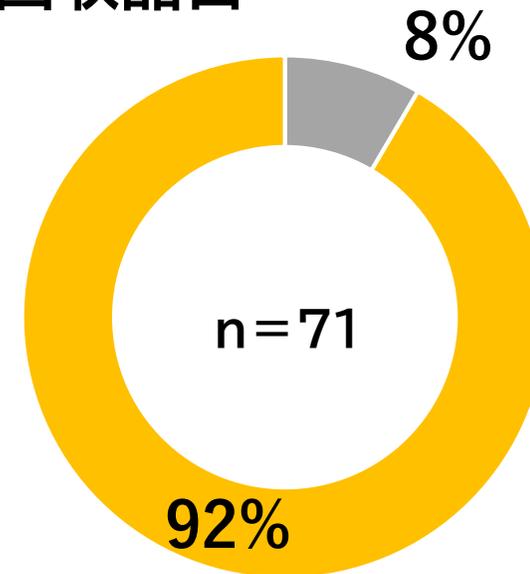
- 回数を減らす(検討中を含む)
- 回数を増やす(検討中を含む)
- 辞める
- 現状維持



今後の活動(回収頻度)について、「現状維持」という回答がほとんどでした。

### 回収品目

- やめる(検討中を含む)
- 辞める
- 現状維持
- 回収品目を減少する(検討中を含む)

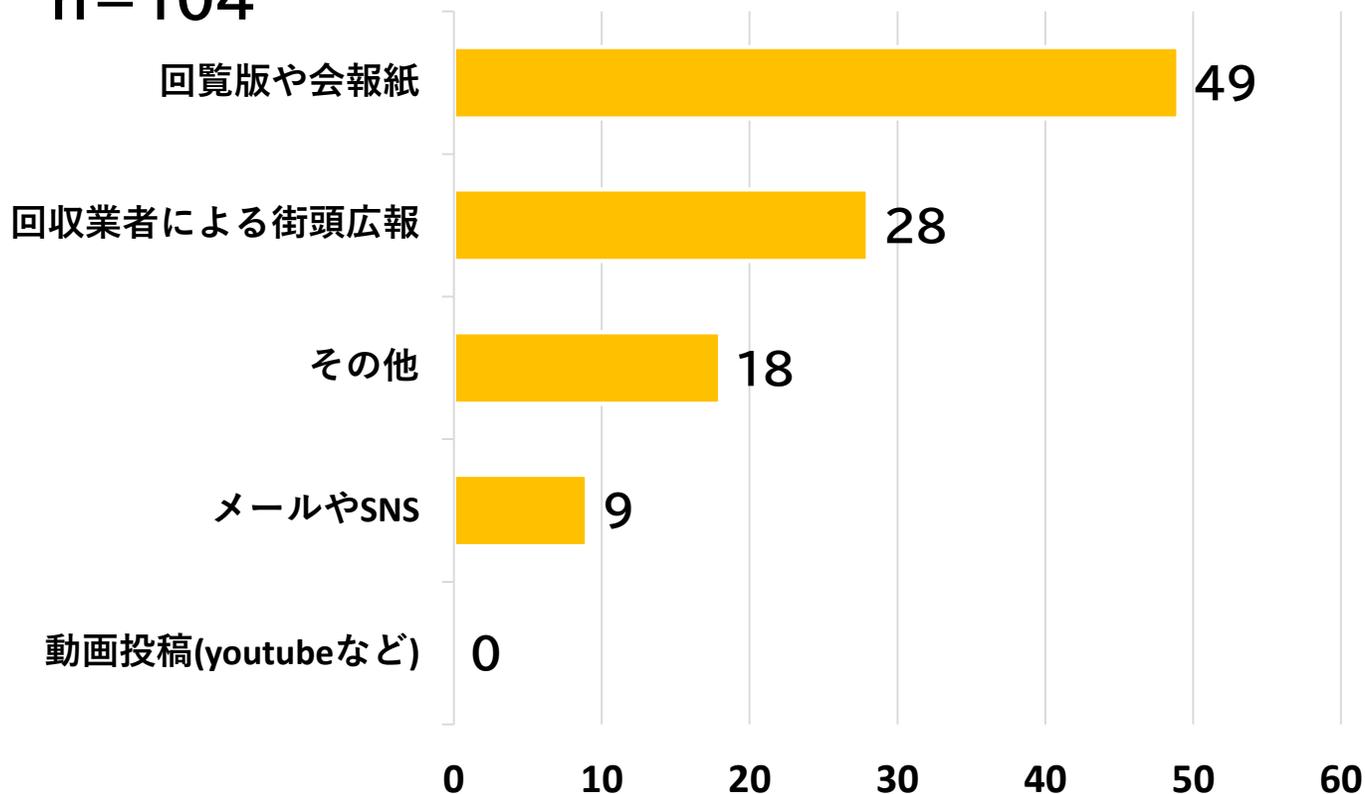


今後の活動(回収品目)について、「回収品目を減少する(検討中)」という回答がほとんどでした。

# 調査結果

## 周知啓発方法

n=104



周知啓発方法について、「回覧版や会報誌」による団体が一番多く、次いで「回収業者による街頭広報」が多い状況。少数であるが、「メールやSNS」による周知啓発も行っている。

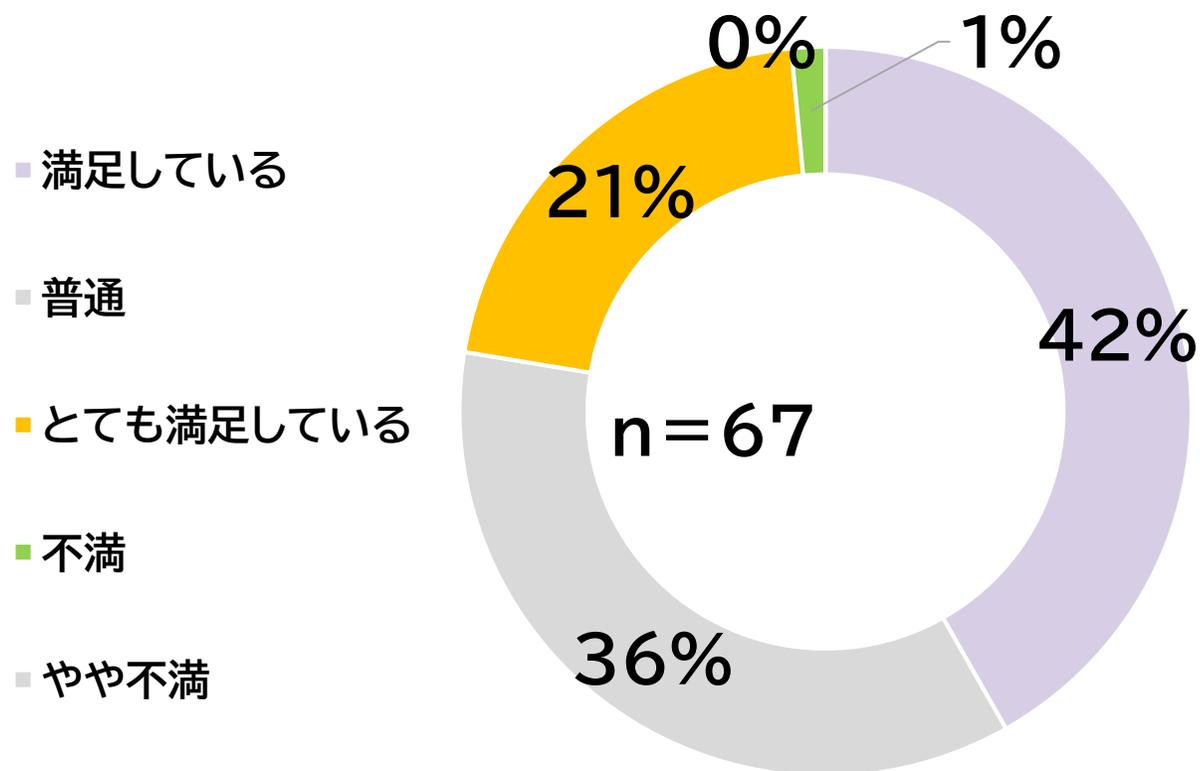
その他の意見として回収日に防災無線を使用して町内会員に案内しているという意見あり。

### その他の意見抜粋

- ・戸別にチラシを配布。
- ・防災無線を使用して周知。
- ・1年間の活動内容のリーフレットを配布。
- ・各委員などによるPR

# 調査結果

## 資源回収奨励金制度の満足度

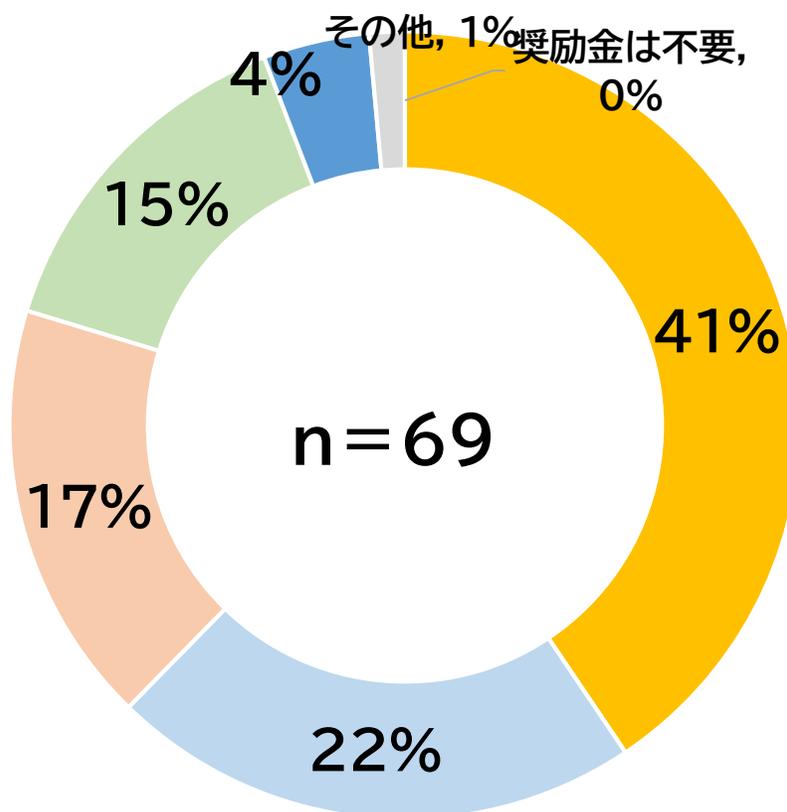


集団資源回収奨励金制度の満足度については、「満足している」が42%、「普通」が36%、「とても満足している」が21%とは大半の団体が、制度自体に普通以上の満足度を感じているという結果であった。

# 調査結果

## 資源回収奨励金の単価変更について

- 増額減額にかかわらず継続(現状維持)
- 減額しても継続(現状維持)
- 増額するなら積極的に回収量や回収品目を増やすよう取り組む
- 増額するなら継続(現状維持)
- 減額するなら廃止又は廃止検討
- その他
- 奨励金は不要



集団資源回収奨励金の単価変更について、現在市は資源回収量1kg当たり3円、紙製容器包装(雑誌)は6円の奨励金を交付している。

単価を減額した場合でも継続するといった趣旨の回答が63%と大半を占めていた。また、「増額するなら積極的に回収量や回収品目を増やすよう取り組む」が17%と増額のインセンティブを活性化の動機付けにするといった団体も一定数いることが分かった。

### その他の意見抜粋

・毎回役員が変わるため、自分の一存で回答で回答できない。

# 調査結果

## 自由意見(抜粋)

- ・回収業者の買取価格が下がっている。市の奨励金は増額して欲しい。特に雑紙の単価は上げるべき。
- ・資源回収は労せず町内会の収入が得られる。買取単価が下がっても町内会資源回収は続けたい。
- ・業者の人で不足が心配、市の奨励金はそのまま継続して欲しい。
- ・資源回収で得られてた資金により町内会活動行事が継続できている。無くなると困る。
- ・団員が減り回収量が減ってしまっている。OBなど協力を求め、回収量を増やす努力が必要
- ・農家、高齢者家庭で構成されている。集団での資源回収は実施できない。
- ・新聞を取らない方も増えつつあるが、少しでも活動費になるよう頑張ります。
- ・資源回収は活動資金になるが、町内会内での徹底不足か、市実施の資源収集に資源物を出している家庭がある。協力を得られる良案はないか悩んでいる。
- ・集団資源回収への市民からの協力をもっと増加させる事を考えてゆくべきではないか？
- ・月1回の市の不燃ごみ収集日に資源回収日を合わせるより、資源の日と合わせるほうが良いのでは？
- ・資源回収業者より買取価格を下げる要請があった。

# 調査結果

## 結果まとめ

集団資源回収活動は資源物を売り払い収入にできるほか、市が交付する資源回収奨励金も地域活動の活動経費に充てることができるため地域活動の活性化と資源回収率向上に寄与してきた経緯があり事業継続を望む声が多かった。

課題としては、資源回収量の減少や事務の担い手不足など団体運営の負担増加、リサイクルに対する地域住民の意識低下などの課題を抱えており、行政や活動団体による情報発信の強化が必要だという意見が多かった。

また、資源回収日を変更できるか否かについて、「資源回収業者の都合であるため変更不可」、「馴染みある回収日のため変更予定はない」など回収日の変更には否定的な意見が多かった。